

入学時期:	4月生	学科:	上級行政科	コース:	2年	クラス	—
科目名:	ミクロ経済学・マクロ経済学					年次:	1年次
担当者:	増丸 浩三	単位:	4単位	授業時間:	60時間		

■授業概要・方法等

ミクロ経済学・マクロ経済学の講義・演習により、大卒程度の公務員採用試験に合格する実力を養う。

■学習・教育目標及び到達目標

経済の基本原理を理解し、計算及びグラフを読み取れるようになる。

■成績評価方法および基準

・試験(1回) 100%

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

『ミクロ経済』(本校独自)

『分野別過去問集 ミクロ経済』(本校独自)

『マクロ経済』(本校独自)

『分野別過去問集 マクロ経済』(本校独自)

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【 ミクロ経済学・マクロ経済学 】

時数	内容
1 ～ 1	ミクロ経済学序論
2 ～ 3	最適消費, 需要曲線
4 ～ 5	収入と各種費用, 損益分岐点と操業停止点, 長期費用関数
6 ～ 6	市場の調整, 余剰分析, パレート最適
7 ～ 8	独占市場, 寡占市場
9 ～ 10	公共財, 外部性, 貿易の利益, 比較優位
11 ～ 12	マクロ学序説, 国民所得と経済指標
13 ～ 14	財市場分析
15 ～ 17	資産市場・貨幣市場の分析
18 ～ 19	IS 曲線, LM 曲線, IS-LM 分析
20 ～ 21	労働市場, AD 曲線, AS 曲線, AD-AS 分析
22 ～ 22	古典派

23	～	24	消費関数, 投資関数, ケインズ以降の学派, フィリップス曲線
25	～	26	インフレ AD・インフレ AS 分析
27	～	28	経済成長論(ハロッド=ドーマー成長論, 新古典派成長論)
29	～	30	国際収支, マンデル=フレミング・モデル
31	～	31	ミクロ経済学序論
32	～	33	最適消費, 需要曲線
34	～	35	収入と各種費用, 損益分岐点と操業停止点, 長期費用関数
36	～	36	市場の調整, 余剰分析, パレート最適
37	～	38	独占市場, 寡占市場
39	～	40	公共財, 外部性, 貿易の利益, 比較優位
41	～	42	マクロ学序説, 国民所得と経済指標
43	～	44	財市場分析
45	～	47	資産市場・貨幣市場の分析
48	～	49	IS 曲線, LM 曲線, IS-LM 分析
50	～	51	労働市場, AD 曲線, AS 曲線, AD-AS 分析
52	～	52	古典派
53	～	54	消費関数, 投資関数, ケインズ以降の学派, フィリップス曲線
55	～	56	インフレ AD・インフレ AS 分析
57	～	58	経済成長論(ハロッド=ドーマー成長論, 新古典派成長論)
59	～	60	国際収支, マンデル=フレミング・モデル

■履修にあたっての注意事項

本書に専念し, 受講した分野について過去問集を徹底演習していただきたい。

■その他